# 令和２年度　第１回 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会
# 保健福祉部会・介護保険部会　会議要旨

１　開催日時　　令和２年７月 30 日（木）　14 時 00 分～16 時 00 分

２　議　題

１　大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(令和３年度～５年度)の策定について

（１）計画の総論（案）第１章について・・・・・・・・・・資料１－１～資料１－２

（２）第７章の重点項目の構成（案）について・・・・・・・・・・・・・・資料１－３

２　大阪市介護保険事業の現状について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料２

３　介護保険給付にかかる費用の見込み等の考え方について・・・・・・・・・資料３

報　告

大阪市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について・・・・・・・・・・資料４

３　委員発言

【議題１】

○事務局から、資料１－１～資料１－３に基づき、大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(令和３年度～５年度)策定に係る総論第１章及び第７章重点項目について説明。

(主な意見等)

・　災害が発生したときには、高齢者の方への対応が重要である。

・　非常時には、住まいによって高齢者への被害が変わってくるが、多くの高齢者は住宅の点検に関心がないため、的確に高齢者の避難行動を促進したり、避難にあたっての住宅の点検をしたりするアドバイザー（地域の中のアドバイザー)、専門家のチェックが求められていると思う。

・　高齢者は受動的であるので、アウトリーチが届くような準備体制があった方が、より被災者の命を守り安心できる体制となる。そのため、もう一歩踏み込んだ内容となるようにお願いしたい。

・　地域包括ケア、介護予防等に関して、人対人の流れは非常に大切なものであるが、新型コロナウイルスの感染リスク等も踏まえ、人と人の流れ以外の観点も計画には必要ではないか。介護予防や保健事業の一体的実施など、実態として、リハビリをやっていて現場は動けないということも多かったため、そういった観点も計画に含めてほしい。

・　保健事業と介護予防の一体実施について、現在国が策定を進めている循環器病対策推進基本計画の案の中で、要介護者と循環器病の関連が示されており、介護保険事

業計画等と整合性を保ちながら策定することになっている。おそらく来年度には大阪府でも循環器病対策推進基本計画を策定することになるかと思うが、その部分を配慮した記載をお願いしたい。

・ 今年の 4 月から高齢者の広域検診は、フレイル検診となっており、受診者のチェックによって下肢筋力の低下、嚥下機能の低下などがわかってきているが、これをどう介護予防に繋げていくのかはいまだに未整備な感じがする。このような方々が円滑に介護予防につながるような施策を踏まえ記載をお願いしたい。

・ 認知症施策部会ができたことにより、この保健福祉部会と介護保険部会がどのように連動するのか教えてほしい。

・ 2040 年を見据えて検討することとなっているが、今までの計画は 3 年間としているが、現在の直近の問題も解決していくような計画としていってほしい。

・ 新型コロナウイルスの影響で 2 月末からほとんど会合がないし、病院に行けない、お見舞いに行けない。そういった面を具体的に解決してほしい。

【議題２】

〇事務局から、資料２に基づき、介護保険事業の現状について説明。

（主な意見等）

・ 令和 2 年 2 月の訪問サービスまでは、おそらく新型コロナウイルスの影響は受けていないが４， ５， ６月は大幅に減っているはずで、今後どのように見込むのか。

・ 地域密着型サービスの事業廃止の数字について、このあたりの分析があれば教えてほしい。

・ 訪問介護の構成割合は、全国として多い、このあたりの要因分析をしてほしい。

【議題３】

〇事務局から、資料３に基づき、介護保険給付にかかる費用の見込み等の考え方についてについて説明。

（主な意見等）

・ 介護保険料の上昇は、危惧している全国、府下でも大阪市は、高く、府下においても金額に違いがある。介護保険料の上昇を抑える施策が必要ではないか

・　一般財源を投入して介護保険料を抑えるような考え方はないのか

・　大阪市は非課税世帯が多く、その分の保険料を他の方が負担するシステムになっているのではないか。政令指定都市で大阪市の保険料が一番高い現状もあり、そういったところを被保険者が納得できるようなシステムにしてほしい。

・　通所介護事業所の多いところでは、一人当たりの通所のサービス量が多く、訪問介護事業所の多いところでは、一人当たりの訪問介護のサービス量が多く、生活保護の多い地域では、全体的にサービス量が多くなっている。

・　ケアマネジャーがニーズではなくサービスに引っ張られてサービスを決定しているのではないか、ケアマネジャーは、そういうことをコントロールするために作った制度であるので、計画には、ケアマネジャーが適切なケアプランを作成できるような支援を打ち出していき、利用者のニーズに合ったサービス提供をできるようにしていってほしい。

・　大阪市の世帯構成が地域によって偏っている。西成区では、高齢化率も高く、単身世帯の割合も高い。

・　軽度の方の生活支援などインフォーマルな支援では、スポットで参加する方はいても、反復して継続して参加する方がいない。80 歳、90 歳、100 歳でひとり暮らしの方もいるのでその辺りも分析していただければ、

【報告事項】

〇事務局から、資料 4 に基づき、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の概要について報告。